

127 メボソムシクイ

(スズメ目)

Phylloscopus xanthodryas

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

日本で繁殖し、繁殖後は台湾、中国南東部、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、本州、四国、九州の亜高山帯で繁殖する。亜高山帯の針葉樹林や落葉広葉樹林に生息し繁殖する。樹上で昆虫類やクモ類を採食する。

国内分布

本州、飛島、佐渡、舩倉島、竹島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、沖縄島、宮古諸島、八重山諸島、大東諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、三木市、高砂市、★川西市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、丹波市、南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、たつの市、多可町、★稲美町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
					○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-11月に生息し、平地の林から山地の森林まで比較的広い範囲で記録があるが、その多くは渡りの通過時のものである。県北部の氷ノ山と扇ノ山周辺の1,200m以上の高所では6-8月にも記録があり、少数が繁殖していると考えられている。

保護上の留意点

山地の落葉広葉樹林の保全が重要。